

第16回 KOSMOS コーラム

コーディネーター



小山 修三 (こやま しゅうぞう)

吹田市立博物館館長、国立民族学博物館名誉教授
専攻分野「文化人類学、考古学」

昭和14年生まれ

昭和39年国際基督教大学教養学部卒

昭和46年國學院大學大学院文学研究科日本史学専攻博士課程修了

昭和51年カリフォルニア大学デイビス校大学院人類学部博士課程修了

昭和51年から国立民族学博物館助教授、のち教授。平成14年退官。平成16年6月より現職。著書に『縄文学への道』『縄文時代』『縄文探検』『狩人の大地-オーストラリア・アボリジニの世界』『森と生きる』『Affluent Foragers』『狩猟と漁労-日本文化の源流を探る』など。

パネリスト



赤坂 憲雄 (あかさか のりお)

東北芸術工科大学教授・大学院長、福島県立博物館館長。
専攻分野「日本思想史、東北文化」

昭和28年生まれ

昭和53年東京大学文学部卒

平成4年東北芸術工科大学助教授、平成8年教授。平成11年同・東北文化研究センター所長。『東北学』『別冊東北学』『季刊東北学』などの雑誌を刊行。東北から、東アジアに向けて開かれた日本文化像を構築することをめざしている。著書に、『異人論序説』『排除の現象学』『境界の発生』、『柳田国男の発生』三部作、『東北学へ』三部作、『王と天皇』『象徴天皇という物語』『東西／南北考』『一国民俗学を越えて』『岡本太郎の見た日本』など。

パネリスト



岩槻 邦男 (いわつき くにお)

兵庫県立人と自然の博物館館長、文化功労者、
東京大学名誉教授 専攻分野「植物学」

昭和9年生まれ

昭和32年京都大学理学部卒

昭和38年京都大学大学院理学研究科博士課程修了

京都大学助手、助教授を経て、教授。この間、英国に留学、昭和53年デンマーク・オールフス大学客員教授。昭和56年東京大学理学部教授に転じ、昭和58年以後理学部附属植物園(小石川・日光)園長を務めた。平成5年退官。立教大学教授、放送大学教授を経て、平成15年4月より現職。著書に『日本絶滅危惧植物』『植物からの警告』『多様性の生物学』『文明が育てた植物たち』『生命系-生物多様性の新しい考え』『日本の植物園』など。



窪田 幸子 (くぼた さちこ)

広島大学大学院総合科学研究科准教授、博士(社会学)
専攻分野「文化人類学」

昭和57年神戸市外国語大学外国語学部卒業

昭和63年甲南大学大学院人文科学研究科博士課程単位取得退学

昭和60年より、オーストラリア先住民アボリジニの文化人類学的研究に取り組む。

平成6年大手前女子大学文学部専任講師、平成9年広島大学総合科学部助教授を経て現職。

主著に、『アボリジニ社会のジェンダー人類学—先住民・女性・社会変化』『多文化国家の先住民』(共編著)『社会変容と女性』(共編著)。共著に、『採集狩猟民の現在』『自然観の人類学』『ジェンダー人類学を読む』『資源人類学 資源化する文化』など。



鈴木 邦雄 (すずき くにお)

横浜国立大学大学院環境情報研究院教授・理事・副学長
専攻分野「生態学、環境マネジメント」

昭和23年生まれ

昭和45年東北大学理学部生物学科卒

昭和52年理学博士

助手、助教授を経て平成4年より横浜国立大学教授。経営学部長、研究院長、理事・副学長を歴任。平成21年4月より横浜国立大学学長に就任予定。著書に『マネジメントの生態学』など。